

【目 次】

1	どんな文体にするか	I
2	文章の長さと複雑さ	5
3	語の重さとなじみの深さ	16
4	プロの使うことば：ジャーゴン	20
5	「かっこいい」単語	26
6	「遠回し」な普通でない言い回し	32
7	度を過ぎた前位修飾	39
8	名詞を前位修飾語として使う	43
9	抽象化	59
10	過剰なまでの名詞化	65
11	動詞：時制と態	68
12	動詞：非人称主語 vs 人称主語	78
13	動詞：非人称主語 vs 二人称主語	97
14	句読法	105
15	語り口：紙上の場合とスクリーン上 の場合	114
16	コンピュータ関係の書き物から「メ チャクチャな」英語を排除する	121

17	説明書のスタイル	134
18	記述的な文書のスタイルと説明的な 文書のスタイル	145
19	仕様書	158
20	手紙形式の文体	162
21	世界の人々に対して書く：一般的に 言えること	175
22	ノン・ネイティブを念頭に置いた文 章：「専門家」を相手にした文章	178
23	ノン・ネイティブを念頭に置いた 文章：学生を相手にした文章	192
24	ノン・ネイティブを念頭に置いた 文章：英語が分からない人に向けて	193
25	曖昧さをなくす	199
補遺：科学記事を読む人は、いったいどんな 文体を好んでいるのだろうか：調査結果から		212
参考文献		215
和文索引／英文索引		217